

学校法人 萌愛学園 かもめ幼稚園 令和5年度 園評価

園長 福士 恵里子

1. 本園の教育目標

『つよい子』『やさしい子』の育成

一人ひとりの園児の実態を正しくとらえ、園児が喜んで登園し安定して遊べる望ましい環境を構成する。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、幼児期に大切な楽しい充実した生活経験を通し、個性豊かで身体的、精神的に調和のとれた人間形成の基礎を培う。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- 少子化が進み、園児数が激減していることや保護者の就労に対する支援策など新しい事業の展開を図っていく。昨年10月に預かり保育の充実を図るためのアンケートを実施してきた。結果的に時間延長や土曜保育についても利用したいとの要望があり、新しい事業に職員配置をし、意欲的に職務が遂行 されていくよう努めていく。
- コロナ禍での三年間、しだいに日常的になりつつある中で、第5類への移行となる。全てを元に戻すのではなく、これまでの感染予防の経験を活かし、子どもたちや職員も含めて、健康で安心した園生活となるように心がける。
- 今後、地域社会との繋がりを大切にし、地域の特性を生かした活動や豊かな自然の素晴らしさから、多くの学びが得られる活動を計画する。(施設訪問・学校訪問・エビマーチ・りんご狩り遠足・かに釣り他)
- 保育の質の向上を目指していく。指導計画・園内研修についても職員間で話し合い、前向きに研修を進めていき理論と実践に繋げ、より良い保育に努めていく。また、教職員は園児の模範となる行動や言動がとれるように一人ひとり、意識を高めていく。
- 各関係機関との連携を大切にする。就学時には特に小学校との連携を大切にしながら、子どもたちが期待をもちながら就学へと繋がるようにしていく。特別な支援を要する児の対応としても十分な連携を心がける。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

自己評価(教職員)と園評価(保護者)を連絡アプリからアンケート調査実施。

(1) 対象者内容

対象者	人数	回答数	実施期間
教職員	17人	17人	R6.2月26日~R6.3月4日
全保護者	76人	72人	R6.2月26日~R6.3月4日

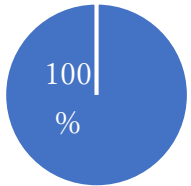
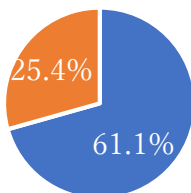
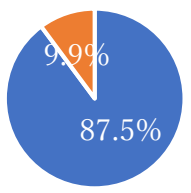
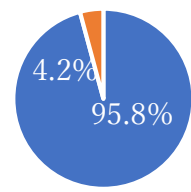
① 教職員(自己評価)

教職員自らが客観的な目で自園の教育・保育を振り返り、主体的に改善に取り組むために、課題を明確にすることを目的に実施。

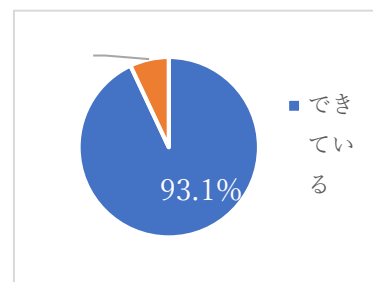
② 保護者(園評価)

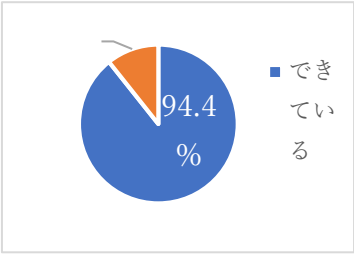
当園の教育活動に対し、どのように感じられているかをお聞きし、次年度の教育活動に活かしていくことを目的に実施。

③ 上記内容を参考にしながら、本年度の教育活動に活かせるよう各項目にまとめている。

評価項目	取り組み状況・今後の取り組みについて	
勤務・入園に関すること	<p>●幼稚園に勤務して良かったか。(100%)</p> <p>●幼稚園に入園して良かったか。(100%)</p> <p>◇今後も、この評価を維持できるよう努めていく。</p>	 <p>■良かったと思う ■できている</p>
環境・施設・設備について	<p>●幼稚園の環境・施設・設備は良いと思いますか。</p> <p>教職員 (58.8%) 保護者 (61.1%)</p> <p>◇園の周りの環境は、自然にも恵まれており四季を通した活動を心がけている。動植物にも身近に触れることができる。</p> <p>◇園舎に関しては、例年、計画を立て優先順位を決めながら整備している。</p>	 <p>■できている ■どちらともいえない</p>
保育の在り方 (幼児への対応)	<p>●保育内容は充実していると思いますか。できている。教職員 (76.5%) 保護者 (87.5%)</p> <p>●教職員は一人ひとりの園児をよく理解し園児との信頼関係もよいと思いますか。できている。教職員 (82.4%) 保護者 (95.8%)</p> <p>◇園児一人ひとりを理解するため、クラス担任は勿論だが個人記録を作成し、担当だけではなく、バスの対応時やなかよし保育時など、個々の姿を職員間で共有し、個々の性格などもよく知り得ながらの対応を心がけている。昨年度と比較すると保護者からの評価も高く、また、職員も努力している。今後も教職員は自信をもって園児との信頼関係に努めてほしい。</p>	 <p>■できている</p>  <p>■できている ■どちらともいえない</p>
保育の計画性 保育の質の向上 (能力・姿勢・責任)	<p>●長期の指導計画はマンネリ化していないか、常に見直しを行い、園児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように対応しているか。できている。教職員 (70.6%)</p> <p>●指導計画を振り返り、評価、反省を行うとともに、教師としての子どもへのかかわり方なども日々振り返り、明日の保育へ活かせるようにしていると思いますか。できている。教職員 (70.6%)</p> <p>◆自己評価は、確実に自信とまで繋がっていない。今後も教職員としての自覚、責任をしっかりとつよう意識する。どのような態度が望ましいか、職員間で</p>	

<p>保育の質の向上 (能力・姿勢・責任)</p>	<p>話し合い模範となるような姿勢をもつ。</p> <p>◆指導計画、行事の内容を含めて、マンネリ化しないようにPDCAサイクルを通して改善を図りながら幼児期に必要な育ちに応じた主体的・対話的で深い学びが育まれるよう質の向上を図る。</p> <p>◆幼児期において、探究心や思考力、表現力等に加えて、感情や行動のコントロール、粘り強さ、協調性等、社会情動的スキルやいわゆる非認知的能力を育むことが重要であることを踏まえ、質の高い幼児教育の提供に心がける。</p> <p>◆各学年での打ち合わせ、職員間でよく話し合い、各年齢に合わせた内容と子どもの姿をイメージしながら計画を立て、子どもたちが意欲的に取り組める活動を心掛ける。</p>
<p>保育の質の向上 (研修)</p>	<p>◆今年度は研修会も公開保育など参加研修することができた。他園の実践的な研修や私立幼稚園協会からの研修は夏休み・冬休みに全職員で参加できた。しっかりとレポート提出もできている。課題としてパート職員の研修の参加を考えたい。時間帯を考慮しながら進めていきたい。</p> <p>保育の質の向上を目指し、今後も時間帯を工夫しながら、園内研修にも力を入れていきたい。</p>
<p>安全管理について</p>	<p>● 園児への安全確保に注意が払われているか。 できている。教職員(88.2%) 保護者(93.1%)</p> <p>◇危機管理マニュアルに基づきながら安全な対応に努める。</p> <p>◇安全管理について、保護者からは高い評価は得られているがバス対応時など、全国的に問題化され、再度、見直しをし、バス運転業務職員、バス担当職員とマニュアルの徹底をし、今後も安全、安心に繋がるよう努めていく。</p> <p>◇園外保育に関しては春の遠足、りんご狩り遠足・かに釣り・年長お楽しみ会実施の滝川・砂川など事前に現地を下見し、安全確認をしている。</p> <p>◇園内での保育に関しても常に注意を払い、危険な遊び方はしていないか、活動が年齢や能力に対し、危険でないかと気を配り安心した園生活となるよう努める。</p> <p>◇火災・地震避難訓練は昨年よりも実施できた。冬季間の地震を想定した避難は避難路の雪が多く、安全面を考慮し実施していない。今年度は園内での非常食の試食を体験することができ、防災意識を高めることができた。</p> <p>◇交通安全教室についても毎月の教室の他、交通指導員の協力も得られ実施できた。今後も園児の安全確保に努めていく。</p>



<p>保護者との連携について</p> <p>保護者との連携について</p>	<p>●園だよりやクラスだよりの発行など、主として保護者を対象とした情報の伝達・公開が適切に行われているか。 できている。教職員（94.1%）保護者（94.4%）</p>  <p>◇園だよりやクラスだよりなどは ICT の導入により、アプリ内からの発信で実施した。 行事予定など、必要に応じて、紙面からも情報を公開している。</p> <p>◇園のアプリを通して、クラスだよりや園だよりなど子どもたちの様子を伝えられていることについては評価はあった。今後は行事だけではなく、子ども同士の関りなど、教育的意図や根拠に触れて教育活動を発信していく。</p> <p>◇行事や参観日については、感染予防に努めながらも実施できた。</p> <p>◇個々の子どもの様子について、懇談や電話などで対応し、共に子供の成長を伝えあうことができた。今後も園と家庭との連携を大切にしていく。</p> <p>●保護者から寄せられた具体的な意見や要望に適切に対応しているか。 できている。教職員（70.6%）保護者（86.1%）</p> <p>◇全てのご意見、要望に答えられるわけではありませんが、園の考え方も理解していただき、それぞれのご家庭に不公平とならないよう心がけていく。</p>
<p>地域社会との関わりについて</p>	<p>●地域の特性を生かした活動の実践をしているか。 できている。 教職員（82.4%）保護者（93.1%）</p> <p>◆年長組のカニ釣り・りんご遠足など地域の特性を生かした活動を取り入れている。保護者からも高い評価は得ているが、今後はより一層、地域からの要請に応えていけるよう努めていきたい。</p> <p>◆今年度、3月には『萌っこ春まつり』が開催され『エビマーチ』の披露ができた。今後も戸外での参加は天候にもよるので、できるだけ子どもたちのことを最優先しながら、依頼先との調整を行う。</p> <p>◆勤労感謝の日を通じて、園児の手作りのカレンダーを地域のお世話になっている関係機関に届けている。 また、依頼があれば中学生、高校生による職場体験も積極的に受け入れ、進路意識、働くことへの意義などを大切な活動として、今後も協力を努めていく。</p>
<p>園行事・係分担について</p>	<p>◆園行事について ◆PTA活動・係分担について</p> <p>PTA活動は昨年実施できなかった『なかよし祭り』の開催ができた。行事をその都度見直しながら、活動を保護者に理解していただき協力を求めて実施することができた。また、今年度は『さざなみ会』の協力もいただき活動の輪が広がった。（さざなみ会は祖父母の会だが近年はOBが活動参加している）本来は園における幼児教育が、生涯にわたる子どもの人間形成の基礎を培う上で大切であることをふまえ、園と家庭・保護者との連携が大切であることは踏まえていきたい。</p> <p>◆これまでの活動に対する意見などを参考にし、社会情勢（就労）にも配慮しつつ、PTA活動・係分担の負担軽減を図っている。今後も保護者の負担を最小限となるように心がけ、ご協力いただける方法を検討していきたい。</p>

預かり保育	<p>●預かり保育や子育て支援のあり方・考え方について学習しているか。できている。教職員（58.8%）</p> <p>◆預かり保育については、担当者を中心に行ってきた。無償化にともない利用人数も増え、対応を考えてきた。また、保護者のニーズに対応し、時間帯を早朝預かりと時間帯も延長・土曜日の預かりを実施してきた。教職員の労働時間も考えながら、今後も安心して預けていただけるよう努めていく。</p>
子育て支援	<p>◆子育て支援として、『かもめキッズ』未就園教室を実施している。親子が一緒に遊べる機会や遊びの場の提供、さらには保護者の交流の場を提供している。近年、満3歳児になると入園する傾向があり、利用人数は以前よりも少なく年齢も満2歳が主である。様々な活動内容と日頃の子育てに耳を傾け、保護者に寄り添えることで子育ての支援に繋がっている。</p> <p>◆今年度から『一時預かり事業』を実施し、子育て支援対策として、保育施設や幼稚園に通っていないお子さんの一時保育を行ってきた。</p>

4. 具体的な記述意見集計と対策

『園に対する感想』	<p>●担任の先生はもちろんのこと他の先生方も子どものことをよく見て下さり、きめ細やかなご指導に安心して託すことができ信頼しています。子どもが幼稚園大好きで毎日楽しく過ごしていて、伸び伸びと園生活を過していく中で生活のルールを身に付けてきて少しずつ成長が見られ、「この園に通わせることができ本当に良かった」と思える一年間でした。</p> <p>●一人ひとりの園児と向き合い、個々に合った対応をして下さっていることに感謝しかありません。</p> <p>●早朝預かり、土曜日保育、なかよし保育時間拡張、給食への移行等働く保護者にとってもありがたい環境になりました。又コロナが緩和され行事等も以前に戻りつつあり子供たちも保護者の私たちも楽しむことができています。色々ご苦勞がある中、たくさん検討して頂き感謝しかありません。</p> <p>◇内容について省略しておりますが、多くの保護者の方から、園に対する評価をいただきました。心を寄せて頂いた気持ちを前向きに励み、今後も職員一同、より良い運営に努めていきます。</p>
『その他・要望』	<p>●エアコンをつけていただきたい。</p> <p>◇今年度の夏の暑さは厳しく、早急に長時間過ごす『なかよし保育』の部屋・厨房の設置は出来ている。二階ホールも優先し、全クラス対応出来るように進めていきたい。</p> <p>●満3歳児の人数が多く、一クラス設けても良いのかと感じました。</p> <p>◇クラス編成では、その年による職員体制も含めて考えています。</p> <p>今年度は二学期後半から、クラス年少と同じように満3歳の園児が増えました。今年度、職員間でも同様の意見もありましたので、年少一クラス、満3歳クラス一クラスと対応いたします。</p> <p>今後も異年齢での活動とクラス学年別の活動を上手く合わせて、より良い保育を努めます。</p> <p>●匿名でのアンケート希望、クラス便りでの発行回数を増やしてほしい。</p> <p>◇記名について、保護者の皆様に協力を求めていますのは保護者、職員共にご意見やご要望をいただい</p>

た時に対応を考えていきやすいメリットがあります。今後ご理解いただきたいと思ひます。

◇クラス便りの発行回数ですが、クラス担任の業務内容を考えますと現状では月一回程度のご理解を頂きたいと思ひます。クラスでの内容については、お子さまの様子など具体的に連絡をお伝えいたしますのでご理解ください。

園だより、子どもたちの様子、ドキュメンテーションからの動画配信なども評価を頂いておりますので今後も出来るだけ、園での活動を分かりやすくお伝えしていきたいと思ひます。

5. 財務状況

財務状況	◆公認会計士監査により、適正に運営されていると認められています。
------	----------------------------------

6. 次年度の重点的な目標・計画

- 地域社会との繋がりを大切にし、地域の特性を生かした活動や、四季を通して、子どもたちが伸びやかに活動し、多くの学びが得られるよう保育計画を見直す。
- 少子化が進み、園児数が減少傾向にあり、学年一クラス編成とする。これまで以上に職員間で学年の取り組みと同様に異年齢での活動計画を立て職員間で共通理解を図る。
- 保育の質の向上を目指していく。指導計画・園内研修について、職員間で話し合い、前向きに研修を進めていき理論と実践に繋げ、より良い保育に努めていく。また、職員は園児の模範となる行動や言動が取れるように一人ひとり、意識を高める。
- 昨年度より、一時預かり事業など『子育て支援』にも力を入れ充実を図ってきた。
今年度も地域の子育て世代が利用しやすいように、また幼稚園での活動を地域に分かりやすいように情報を発信していく。
- 今年度より、給食（外販）がスタートする。食育活動にも力を入れる。
（食と健康・食と人間関係・食と文化・いのちの育ちと食・料理と食）
- 各関係機関との連携を大切にする。就学時は小学校との連携を大切にしながら、学校見学などをし、年長児が期待をもちながら就学へと繋がるようにする。
入園前には、保護者の了解を得て、支援を要する児の対応として十分な連携を心がける。